



手指を切ってしまったて腱が切れた場合は分かりやすいですが、明らかな怪我をしていないのに切れてしまうことがあります。
その代表的な原因としては、**手首の関節変形**があります。

小指伸筋腱が切れる原因とは？

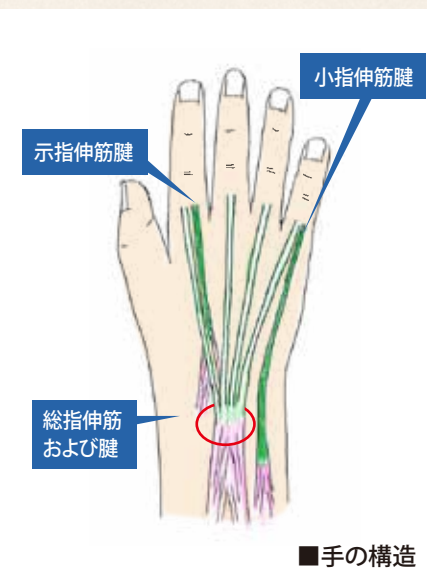


手指には親指（母指）、人差し指（示指）、中指、薬指（環指）、小指の5本あります。
指を1本ずつ伸ばしてみてください。親指、人差し指、小指は単独でスムーズに伸ばせますよね。では中指と薬指はどうでしょう。単独で伸ばそうと思っても隣の指と一緒に動いてしまいうまく伸ばせないと思います。
これは、人差し指・中指・薬指・小指の伸筋腱は総指伸筋というひとつの筋肉から伸びているからです。それでも人差し指や小指を単独で伸ばすことができるのは、

《やってみよう！》 小指だけ伸ばせますか？

人差し指と小指は総指伸筋以外に固有の伸ばす筋を持っているからです。
この筋を示指伸筋、小指伸筋と呼びます。
つまり人差し指と小指は伸ばす筋や腱を2本ずつ持っているのに対し、中指と薬指は独自の伸筋を持っていないので単独では伸ばすことができません。伸ばそうとするとどうしても隣の指と一緒に動いてしまいます。

小指伸筋腱が切れてしまっても総指伸筋腱が効いているので他の指と一緒にあれば小指を伸ばすことができますが、小指だけをスムーズに伸ばすことが難しくなります。**このような場合は小指伸筋腱が切れている可能性があります。**



■手の構造

手指の腱について

手指の腱とは、筋肉の延長にある白いすじ状の組織です。腱は骨にくっついており、筋肉の収縮が腱を介して骨に伝わり関節が動きます。操り人形の「ひも」のようなものです。

手指には指を曲げる屈筋腱と、伸ばす伸筋腱があります。手指を動かす主な筋肉は前腕（肘と手首の間）にあり、手首の手前から指にかけては腱になっています。
今回は指を伸ばす伸筋腱の話します。



尺骨頭がずれることで発生する小指伸筋腱断裂

手首の甲側を見てみてください。小指側の骨（尺骨頭）といいますが（図①）が少し出っ張っていると思います。

もし他の方よりも骨の出っ張りが目立つようであれば、尺骨頭が手の甲側にずれている疑いがあります。

このタイプの方は、手指の伸筋腱断裂のリスクがあります。尺骨頭が手の甲側にずれる原因は、手首の変形性関節症や関節リウマチなどが代表的です。

もし尺骨頭が明らかに出っ張っていて、小指が単独で伸ばせないのであれば、小指伸筋腱が突出した尺骨頭と擦れることで断裂している可能性が非常に高い（図②）です。放置すれば隣の小指の総指伸筋腱も断裂（図③）し、他の指と一緒に小指が伸ばせなくなり、さらに進めば薬指の総指伸筋腱まで断裂し、薬指まで伸ばせなくなります。手術が必要です。

手指の腱について

医療現場の最前線では、日々、多くの医師とさまざまな診療科が連携して治療にあたっています。
今回は、整形外科の専門医が手指の腱についてご紹介します。



毎年10月にある
大津祭で囃子方を
しています。

淡海医療センター
整形外科 副部長

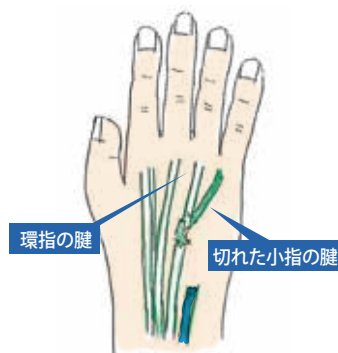
もとほら こうじろう
本原 功二郎

日本整形外科学会
整形外科専門医

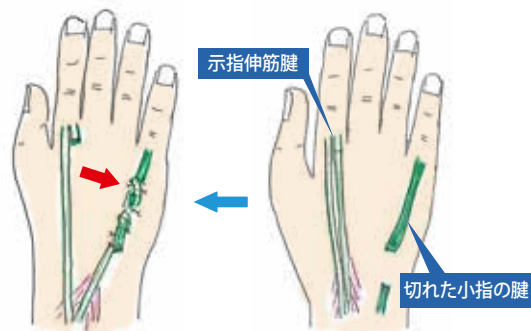
「このような場合には「2つの処置」が必要になります

1 小指伸筋腱の再建（腱移行術）

擦り切れて断裂した腱は直接縫うことができません。そこで他の腱につなぐ必要があります。これを腱移行術と呼びます。①小指の伸筋腱をまだ切れていない薬指の総指伸筋腱に縫合する、もしくは②人差し指の示指伸筋腱を指の根元で切離して、小指の伸筋腱に縫合する（示指には総指伸筋腱もあるので示指が伸ばせなくなることはありません）方法が代表的です。



① 切れてしまった小指の腱を環指総指伸筋腱に縫合する手術



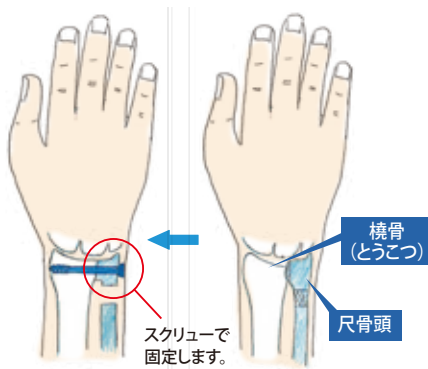
② 示指伸筋腱を指の根元で切り小指の伸筋腱に縫合する手術

2 尺骨頭の出っ張りの解消（関節形成術）

尺骨頭の手の甲側への出っ張りを解消しなければ、せっかく再建した伸筋腱が擦れて切れてしまう可能性があります。

そこで背側に出っ張った尺骨頭を元の正常な位置に戻し、隣の橈骨（とうこつ・前腕の母指側の骨）と固定するか、尺骨頭を切除する必要があります。このような処置を関節形成術と呼びます。

もし小指の単独伸展のみできない段階で気づくことができれば、関節形成術だけで済みます。しかし、ほとんどの方が他の指と一緒に小指を伸ばすことができなくなっているから受診されます。この段階まで進んでしまうと、腱移行術も必要になります。



■手の甲側に出っ張った尺骨頭を正常な位置に戻し、隣の橈骨（とうこつ）と固定します

尺骨頭が出っ張っていませんか？小指だけをピンと伸ばすことができますか？
おかしいと思ったら手外科外来への受診をお勧めします。

整形外科外来のご案内

月～金曜日（受付10:30まで）

地域に密着した、敷居の低い開かれた診療を目指しています。
どのようなことでも構いませんので気軽にご相談いただければ幸いです。急なお困りの時やどういったルートで受診すべきかわからないなど、気軽にご相談ください。

予約が必要な場合があります。ホームページをご覧ください。

